

分類体系を考えることは図書館をつくる基礎です

6月30日、じめじめした暑さの中、第2回目の講義が行われました。テーマは図書館の基礎をつくるとても大切な「NDC」についてです。

はじめに、図書館に新しい本が入り貸出されるまでや図書館と本屋さんの本の違いについて説明を受けました。続いて、本日のメインとなる「NDC」について説明があり、より深く理解するためにクイズ形式で本を探したり、本の分類をしたりしました。本を探すクイズでは問題のことは知らなかったり、正解が1つではなかったりして難しかったようですが、楽しんでNDCについて学べたようです。

参加した受講生からは、「おもしろかった」「むずかしかったけれど、楽しかった」「本をさがすには背についているラベルをみてさがせばいいことが分かった」という感想がありました。

次回は、レファレンスについて学びます。市立図書館のスーパー司書が先生として登場します。お楽しみに！



講義にまつわる おすすめ本



『赤木かん子の図書館員ハンドブック
分類のはなし』
赤木 かん子/著
埼玉福祉会 2012年

おとな向けの本ですが、分類についてわかりやすく解説しています。



次回のお知らせ

【第3回】7月21日(土)

10時～12時まで

内容：レファレンスってなあに？

宿題わすれないでね

<編集後記>

むずかしい内容でしたが、ゲーム感覚で楽しんで学んでもらえたのかなと思います。調べ物やレポートを書く時などに参考になる内容なので、頭の片隅に置いておいてもらえると嬉しいな。

担当：下柊棚